



神崎市立  
千代田中学校

第 9 号 文責(校長 原田 浩臣)

2024/12/5 発行

## “ 千代田中だより ”

千代田中学校教育目標

夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身共に調和のとれた生徒の育成

<https://www.education.saga.jp/hp/chiyoda-j/> TEL 0952-44-2222



### 新しい生徒会長が決まりました。

11月15日(金)に生徒会長選挙立会演説会が行われました。4名の生徒が立候補し、演説を行い「自分が生徒会長になったらこのような学校にしたい」と熱く語り、生徒に訴えました。またその4人を応援した応援責任者が、立候補者の人柄やエピソードを話し、この学校のリーダーにいかにかわいさわしいかを訴えました。

演説会終了後に、「4人の立候補者はもちろんですが、最も注意してみているのは応援責任者です。『こんな素晴らしい人物が応援する立候補者ならきっと間違いないだろう』という思いで4人の応援演説者の話を聞いていました。4人の応援演説者は、自分が推薦する立候補者の良さを心を込めて伝え、甲乙つけがたいものでした。また、4人の立候補者からも、千代田中をこんな素晴らしい学校にしたいという思いが伝わり、だれが生徒会長になってもこの学校は安心だと感じました。」と全校生徒の前で講評しました。

温故知新(古きよきものは残し、新しいものを思い切って取り入れる)の気持ちで頑張ってもらいたいと思います。



### 全校集会での話

11月の初めに、地域の方から学校へ「千代田中の生徒が自転車運転の時に並列をしているのが目立っていて、事故にあわないか心配しています。よければ学校の方から注意をして改善していただけないでしょうか」というお電話がありました。本当に千代田中学校の生徒のことを心配してくださる、ありがたいお電話でした。それをうけて、11月6日の全校集会でこのような話をしました。

皆さんは「ハコヅメ」というテレビドラマを見たことがありますか?このドラマの中で婦人警官が子どもたちに言っていた言葉がこのようなものだったと思います。「他人の家に泥棒として入って、捕まった人がこんなことを言っていたそうです。泥棒に入る前に、盗みに入る家はもちろんだが、その町の様子を確認するために下見に行くそうです。そして、自転車の2人乗りが多い町は泥棒に入りやすいと判断するそうです。なぜなら、自転車の2人乗りの多い町は人々が他人に無関心な人が多いからだそうです。」みなさんはこの話を聞いてどう思いますか?もしかしたら泥棒が千代田町に下見に来ていて、「ああ!この町は自転車の2人乗りや並列が多いなあ!挨拶をする小学生や中学生も少ないし、これなら自分のことを覚えている人はいないだろう。」と考え、この千代田町で犯罪を行うかもしれません。でも「ああ!この町は中学生の2人乗りや並列もない、通りすがりの人にも挨拶をしてくる。きっと他人に目が向いているのだろう、こんな町は自分が下見をしていたことを覚えている人が多く、捕まる可能性が高いので、この町で盗みを行うのはやめよう。」となるかもしれませんね。そうしたルールを守る行為や積極的な挨拶が、自分や大事な人の命・財産を守ることにつながっていると思いませんか。生徒の皆さんの行動で、この千代田町に悪いことをしに来る人をあきらめさせましょう。

このような話をし、生徒たちは一生懸命に話を聞いてくれました。

地域の方や保護者の方をお願いします。ぜひ中学生の2人乗りや並列を見かけたら「危ないからやめようね」と声をかけてやってください。生徒には「千代田町の平和は千代田町民である皆さんの小さな行動で守っていきましょう」と伝えていきます。よろしくお願いいたします。

## 神崎市国際交流事業（韓国訪問）

11月26日（火）から29日（金）まで、神崎市国際交流事業で、姉妹校である韓国霊岩郡三湖西中学校を3年生5名、2年生9名の合計14名と職員4名で訪問しました。目的は「多様化する国際社会の中で、異国の文化の生活習慣を直に体験することで、言葉や生活文化の違いなど幅広い国際的な視野を広め、国際社会に対応できる人材の育成」です。

神崎市役所に朝6時10分に集合し、バス、飛行機、韓国高速鉄道KTXを乗り継ぎ17時40分に目的地の最寄り駅に到着するという1日がかりの移動で1日目を終わりました。

2日目に目的地である三湖西中学校に行きました。学校では、校門のところから教頭以下職員が出迎えてくださり、大きな歓迎を受けました。また、生徒と体育館に移動した際は、全校生徒から温かい歓迎会を催していただきました。校長同士で贈り物を交換し、生徒同士による出し物（本校生徒によるソーラン節、三湖西中の生徒からバンド演奏など）で会場は友好ムードに包まれました。その後生徒たちは韓服を着る体験及び写真撮影などを行い、昼食も生徒同士交流しながら一緒に食べることができました。昼休みは生徒同士が手を握って校内を行動している姿を見て、本当に行ってよかったと心から思いました。



3日目にソウル市内に戻りましたが、前日ソウルは11月史上最高の積雪（110年ぶりの大雪）を観測し、とても気温が低く日本の仙台市（宮城県）付近と同緯度であることを実感しました。午後からソウル市内を観光し、歴史ある宮殿など見学できました。



姉妹校である三湖西中学校の温かい歓迎で、相手もこの交流を大切にとらえていたことが分かり、大変嬉しく思いました。来年度は三湖西中が神崎市を訪日する予定になっており、その約束もでき、成果のある訪韓でした。

また、韓国の地で、4日間バスのガイドを務めていただいた通訳のキムさんが、お別れの挨拶の時にこのような話をしてくださいました。

私の祖母は、当時の日本人にひどい扱いを受けたそうだ。だから、日本に対してよい印象をもっておらず、私が小さいときからその話を何度も聞かされ、信じさせられてきた。それは、きっと私だけではないだろう。他の韓国人も、それぞれの家庭で似たようなことを経験しているはず。

でも、実際、日本を訪れてみると、祖母が言ったようなことはない。私は日本も日本食も大好きだ。

だから、国際交流は必要だと思う。日本と韓国の間では、色々な誤解があるのかもしれない。でも、こうして交流することで、それも解消されていく。近い国なのだから、これからも仲良くしていきましょう。

非常に印象的な内容でした。キムさんは、日本が大好きでもう50回以上訪日されているそうです。自分たちこそが正しいという一方的な考え方は、対立を生みだし、争いに発展させます。考え方が違っても、相手の立場を尊重し、思いやり、対話をし続けていく必要性を、この国際交流事業を通して学ぶことができました。